

ジャックと豆の木

大分大学教育学部附属幼稚園（文責／園長 石川照代）



お楽しみ会特集【その2】ふじぐみ・うめぐみ

●好きなキャラクターになりきって、体を一杯に動かし口を大きく開けて、歌い踊る年中さん！そのエネルギーはどこから湧いてくるの？見ているほうも、ついつい体が動いてしまいました。自分はこの年齢の頃、こんなに楽しい経験してないかも？本当に羨ましいです。



●幼児期の子どもというのは、どうしてもこんなにも純粹でひたむきに努力することができるとは？人とかくらべることなく、ただ自分でできるようになることが嬉しくて仕方がないのです。この気持ちを一生持ち続けてほしいと思います。

●楽器は、誰がどれをするのか？こま回しはどんなルールにするのか？子どもたちが頭を寄せて話し合い、思うようになかなかつた子どもが自らに必死に折り合いをつける姿に胸が熱くなるのが、年中さんのお楽しみ会です。驚愕の附属幼稚園スタイルは今年も引き継がれました。



●年中さんのお楽しみ会は、誰かに見てもらうためにする意識よりも、それが大好きだから、楽しいから、できて嬉しいから、だから今日もしているだけで、「まあ、お家の人が見たいなら見てもいいよ！」というような感じだと思います。だから、子どもたちの表情は、それはもう楽しそうで楽しそうで・・・。